



学校だより

平成29年4月28日
横浜市立豊田小学校
5月号

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

「あいさつ」

副校長 花本 敏夫

風にそよぐ木々もまぶしい季節となりました。子どもたちも新しいクラスに慣れ、休み時間には校庭から、子どもたちの元気な声が聞こえてきます。

朝、子どもたちを迎えるとき、「おはようございます」と挨拶すると「おはようございます」という声とともに、素敵な笑顔が返ってくることもあります。そのおかげで、私自身、朝から清々しい気持ちで一日をスタートさせることができます。

朝の一瞬の出来事ですが、「あいさつ」の様子を見てみると、そのときの子どもの心の様子も想像できるように感じます。あいさつは、その人の心の様子を映し出すバロメーターといえるかもしれません。

人は、「元気だから明るくあいさつができる」と考えがちですが、実は、あいさつを繰り返しているうちに「元気になってくる」という効果もあります。そう考えると、悩みがあったり、元気がなかったりするときこそ、あいさつにチャレンジするというのも大切なことだと思います。

また、あいさつは自分を元気づけたり、勇気づけたりするだけでなく、相手も明るい気持ちにさせることができます。そして、相手から返ってくるあいさつで、今度は、自分も明るい気持ちになります。

このように、あいさつがこだまするような学校は、とても素敵な学校だと思います。

人は、様々な人と関わり、支えあいながら生きていきます。その支えあいがなければ生きていくことができません。ところが最近、人とのつながりが希薄になってきていると言われています。たしかに、物質的には豊かになり、情報伝達の方法も発達し、人と直接関わらなくても、生きていけるような時代になってきていると感じます。

でも本当は、喜びも悲しみも分かち合う存在が必要であると思います。自分が嬉しかった出来事を一緒に喜んでもらえる相手がいれば、喜びは何倍にも膨らんでいきます。反対に悲しみや悩みを話せる相手がいれば、それだけで心が軽くなることもあります。

そう考えると、人とのつながりをもつことは、とても大切なことだと思います。そして、人とのつながりをつくるために大切になってくるのも「あいさつ」です。

4月に行われた「1年生を迎える会」でも、あいさつの大切さを1年生に紹介していた学年もありました。そのようなことを大事にしようとする学校なら、きっと、豊かな心をもった子どもたちが育っていくのだと確信します。

豊田小学校の目指す、「☆キラッと輝く」子どもたちの姿として、キラキラとした輝きのある「あいさつ」を目指していきたいと思います。

ゴールデンウィークが始まります。病気やけが、事故がないようくれぐれも気を付けてお過ごしください。疲れも出てくる頃ですが、4月から身につけた生活リズムを続けることができますようご協力お願いいたします。